



九条の会事務局からの提案 10月を全国統一行動月間に

7月1日に、安倍内閣は「集団的自衛権の行使容認」の閣議決定を行いました。九条の会事務局は5日に「10月を全国統一行動月間に」という提案を行いました。そして全国での行動を11月24日の日比谷での集会とパレードに結び付けて、安倍内閣の暴挙に対する怒りを結集し、その先の法制化を許さない運動の出発点にしようとしています。代田・九条の会も25日(土)に下北沢駅周辺で宣伝活動を計画し、また11月8日(土)には結成6周年記念のつどいに、学習院大学教授の青井未帆さんの講演那部合唱団の合奏を行います。

10月に入って、この流れに沿って開かれた二つの集会に参加しました

一つは4日に開かれた、九条科学者の会・秋の講演会「安倍政権と集団的自衛権・改憲の行方」です。東京新聞論説兼編集委員・半田滋氏「集団的自衛権と自衛隊」と一橋大学名誉教授・渡辺治氏「安倍政権はなぜ集団的自衛権行使・改憲に執念を燃やすのか？ われわれはそれをいかに阻むか？」。

もう一つは10日に開かれた、九条の会事務局主催 学習会「『集団的自衛権』と日米ガイドライン」。共同通信編集委員・太田昌克さん「日米核同盟の真相をえぐる」と明治大学教授・憲法学・浦田一郎さん「集団的自衛権容認論の過去・現在・未来」。

奇しくも、二つとも講演者はジャーナリストと学者の組み合わせとなりました。今の情勢をリアルに捕まえることと、事の本質にまで深掘りしてしっかり理解することを意識しての人選だったと思います。現役ジャーナリストの半田さんも太田さんも、綿密な取材に基づき現在を理解するうえで貴重な情報を話されました。

8日には、日米の防衛・外交当局の「日米防衛協力のための指針(日米ガイドライン)の見直しに関する中間報告」が出されました。閣議決定の具体化が進んでいることが分かります。ただ、一方的にはできていないようです。力を合わせて九条を守り・実現させていきたいと思います。(代田2丁目・伊東 宏)

「戦争させない、9条壊すな」総がかり行動に5500人の熱気

第2次安倍改造内閣が発足した翌日4日に「戦争させない、9条壊すな 総がかり行動」が日比谷野音で行われ、会場に入りきれない5500人が参加。私も参加してきました。集会では、フォークシンガーの小室等さん、作家の雨宮処凛さん、精神科医の香山リカさん、が発言、作家の落合恵子さんが「平和の申し子たちへ！泣きながら抵抗を始めよう」を朗読をしました。

日本弁護士連合会憲法問題対策本部の山岸良太本部長代行は「弁護士会は10月8日に大きな集会を開く、一緒に『閣議決定』を撤回させよう」とよびかけました。

立憲デモクラシーの会・中野晃一上智大学教授は、「私たちには日本国憲法と9条があり、私たちが主権者です、新しい仲間を連れてまた集まりましょう」と訴えました。

琉球大学法科大学院・高良鉄美教授は「日本が戦前になりそうです。最後まで正しいと思うことをやっていくことを『道破』と言います。これをみんなでやっていきましょう」と話しました。

日本共産党・志位委員長は「この秋のたたかいで攻めに攻め、集団的自衛権行使容認の『閣議決定』を撤回に追い込もうではありませんか」と呼びかけ、あらゆる暴走にたいする「一点共闘」を広げ、安倍政権打倒の国民的大運動へと合流させようと訴えました。

そしてジャーナリストの志葉玲さんは、今だ戦火のパレスチナ・ガザ地区を取材で訪れ、イスラエルによる爆撃で多くの国民が殺され、とくに子供たちや女性たちが無残に殺されている実態をみて、一日も早く戦争を終わらせなければならないことを訴えました。

会場は「閣議決定を撤回させよう」「9条を守れ」「戦争は絶対させない」「安倍内閣を退陣させよう！」の声、声がうずまき、熱気に包まれた集会でした。その後、ほとんどの人が銀座パレードに参加しました。(代田5丁目・小澤 満吉)



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

命と平和を守る「九条の会」の活動 自治体が会場や後援を拒否

さいたま市大宮区の三橋公民館が、同館の俳句会での互選句《梅雨空に「九条守れ」の女性デモ》を「公民館だより」に掲載拒否したことが報道され、大きな問題になっています。館長は「世論が大きく二つに分かれる問題で、一方の意見だけ載せられない」と説明しているそうです。

隣県でのとんでもない出来事と思っていたら、東京でも、「国分寺まつり」（11月2日開催予定）で「国分寺九条の会」と「Bye - Bye 原発／国分寺の会」が「貴団体の出店内容は、政治的意味合いを持つと認められる」と市から出店を拒否されました。

続いて「調布九条の会『憲法ひろば』」が来年1月に開く10周年記念イベントで調布市が後援を拒否しました。その理由が、「調布九条の会」の会則に「九条の会のよびかけに応え、日本国憲法を守り、生かし」とあり、その九条の会よびかけには「日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』のくわだてを阻むため」と宣言していることについて、この文言が「特定の政党を支持し、もしくはこれに反するための政治活動」に当たるので、不承認にしたとのこと。

「集団的自衛権」行使容認の閣議決定を強行した安倍政権の改憲の動きのもとで、自治体の過度の反応とみるかどうか、憲法や平和をテーマにした市民の企画についての後援取り消しや会場使用不許可などが相次いでいます。「中立」とか、「政治的」とかという仕分け自体が間違っていると断ぜざるを得ません。「表現の自由」に止まらない民主主義の危機と捉えるのは思い過ごしでしょうか。（代田5丁目・高岡 岑郷）

代田・九条の会 下北沢駅・南口にて駅頭宣伝

10月25日（土）午後1時～3時

代田・九条の会では、結成以来初めての駅頭行動を行います。新調ののぼりを立て、九条を守る運動を地域でアピールしたいと思います。ご参加いただける方は、どんどん下北沢駅の南口にお集まりください。ビラ配りと署名などを行います。

集会等の紹介

10月28日（火） 午後6時45分～9時15分 前売1000円（当日1200円）

「加藤周一さんに会いに行こう！映画とトークの夕べ」

会場 文京シビック小ホール（地下鉄「後楽園駅」もしくは「春日駅」下車）

連絡先 シネ・フロント読者の会 Tel 03-5802-3121

11月8日（土） 午後1時30分～4時 結成6周年記念の集い

講演：「憲法9条はいまどうなっているのか」

学習院大学大学院法務研究科教授 青井未帆さん

合唱： 南部合唱団

会場 日本基督教団・代田教会（小田急線「世田谷代田駅」南口より徒歩5分）

連絡先 代田・九条の会

11月24日（月・振替休日）午後1時～

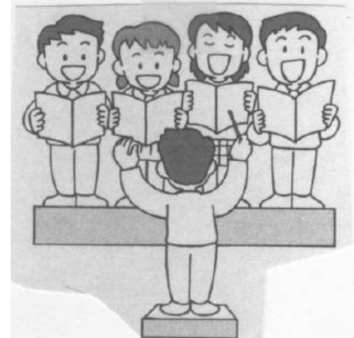
集会 よびかけ人あいさつ

各地・各分野から「月間」の取組報告 など

パレード 銀座方面（午後3時出発）

会場 日比谷公会堂とその周辺

主催 九条の会 11・24集会&パレード運営委員会



日本国憲法（抜粋）

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。